



〈当日のアイス作り〉

私は今回、6月1日に行われた留学生の交流を目的とした料理教室「流しそうめん 抹茶アイスを作る」に参加しました。準備から本番と、5月から短い準備期間ではありましたが協力させていただきたくとても有意義であったと感じています。準備や本番とで何があつたか、何を感じたかを書いていこうと思います。

まず、準備ですが。何をするかと言えば、会議にて、何が必要であるかを検討や現場で使う法被や竹を模したプラスチック製の桶を確認。当日トリハーサルでの日程を決める。そして、この交流会に留学生の方を誘うために声掛けをするといったものです。ただ、少しだけハプニングもありました。当初、この料理教室は10号館にて開催予定でしたが、学食の都合もあり、19号館のラックスに変更となる事がありました。それを除けば特に大きな問題もなく準備は進み、無事リハーサルを行うことができました。参加してくださいました留学生の方々の人数も期待以上であり、当日の雰囲気はとても良かつたと覚えていています。私自身、イベントの運営側に参加すること自体が初めての経験であり、少し不安でもありました。杞憂であるどころか、イベントを行う上でどんなことをする必要があるのかなど、中々に実用的な経験ができました。実際に

【準備段階にて】

まず、準備ですが。何をするかと言えば、会議にて、何が必要であるかを検討や現場で使う法被や竹を模したプラスチック製の桶を確認。当日トリハーサルでの日程を決める。そして、この交流会に留学生の方を誘うために声掛けをするといったものです。ただ、少しだけハプニングもありました。当初、この料理教室は10号館にて開催予定でしたが、学食の都合もあり、19号館のラックスに変更となる事がありました。それを除けば特に大きな問題もなく準備は進み、無事リハーサルを行うことができました。参加してくださいました留学生の方々の人数も期待以上であり、当日の雰囲気はとても良かつたと覚えていています。私自身、イベントの運営側に参加すること自体が初めての経験であり、少し不安でもありました。杞憂であるどころか、イベントを行う上でどんなことをする必要があるのかなど、中々に実用的な経験ができました。実際に



〈会議の様子〉

【リハーサルにて】

5月30日のリハーサルでは、当日の流れの確認や実際に桶の組み立てそこにそうめんを流したり、何処に何を配置するのかを決めました。他にも、桶の足にガムテープを張つて補強をおこなうと、そうめんを流す練習を少しだけ行つたりもしました。少し練習をしておないと、そうめんを流す頻度が早すぎたりすることがあるので意外と重要でした。水漏れしやすい箇所も少し存在していたこともあり、施

「流しそうめん 抹茶アイスを作る」を通して

【本番】

2日後に行われた交流会イベントでは、リハーサル通りにそうめんを流すのは勿論の事、抹茶アイスを作り食べました。また当日では流しそうめんはテーブルごとに順番に行うため、待ち時間が発生するのですが。その時に食べる焼きそばやホットドック、唐揚げを学食の方々が提供してくださいました。

竹を模したプラスチック製の樋なのですが。思いのほか再現度が高く、触りさえしなければプラスチックである事がわからないほど出来がよく、そこに水が流れると見た目はとても涼しげでした。他にも、樋の下流部分では流れが急になることから、箸に慣れていないう方をなるべく上流の方にいてもらう必要がある事が判明しました。こうしてみると実際にしないとわからない問題も多いために当日直前で無かつた事は良かつたと思えます。あまりに早く行つても流れを忘れてしまうかもしれないこと、施設を貸しきつて行うために何度も簡単にはできない事を踏まえるといい日程だったのかも知れないと感じています。

私自身は、正直かなり圧倒されました。留学生の方が50名ほど集まる状況そのものに遭遇することが初めてであるとこと、語学力の低さから思うようにコミュニケーションができませんでした。もう少ししっかり語学を学んでおけば、もう少し会話もできたかもと思うと貴重な機会であつたために悔やまれますし、今後の課題でもある事を痛感しました。イベントそのものは自分とは違う価値観や考え方を持つた方々との交流であるた

設を汚さないために対処、組み立てないとわからない問題が細かいものではありましたが出できました。

竹を模したプラスチック製の樋なのですが。思いのほか再現度が高く、触りさえしなければプラスチックである事がわからないほど出来がよく、そこに水が流れると見た目はとても涼しげでした。他にも、樋の下流部分では流れが急になることから、箸に慣れていないう方をなるべく上流の方にいてもらう必要がある事が判明しました。こうしてみると実際にしないとわからない問題も多いために当日直前で無かつた事は良かつたと思えます。あまりに早く行つても流れを忘れてしまうかもしれないこと、施設を貸しきつて行うために何度も簡単にはできない事を踏まえるといい日程だったのかも知れないと感じています。



〈水もれへの対策〉

スを作り食べました。また当日では流しそうめんはテーブルごとに順番に行うため、待ち時間が発生するのですが。その時に食べる焼きそばやホットドック、唐揚げを学食の方々が提供してくださいました。

待ち時間で食べ物を食べながら、留学生の方々は楽しそうに談笑していました。ただ、今にして思えばこの待ち時間で何かビンゴといったゲームができるのではないかとも考えます。そうめんはとても

好評でした。流れてくるそうめんを箸でとる体験自体はそうないと想いますし、新鮮な体験となつていれば幸いです。抹茶アイス作りもとても樂しそうでした。アイスづくりで材料を袋に入れて、氷を入れられた状態でシェイクするのですが、皆で回しながらシェイクしていく。皆で作った手作りアイスはとてもおいしそうでした。

これからもまた、交流会といった国際色が豊かな催し物があると思います。その時までに少しでも語学を身に着けられればと思います。もちろん、それでもない活動であつても極力参加していく自身の経験を増やしていきたいと思っています。

それを私は活かしき事ができませんでした。英語が苦手である事が致命的なことになるというのを感じるにはとてもいい機会になりました。輪を広げるためにも、語学を学ぶことの大切さを知ったのが、今回イベントに参加させて頂いたうえで一番の収穫でした。当たり前の事ではあるのでしうが、身をもつて思い知る機会がなかつた私にとってはとても良い体験でした。



〈集合写真〉